



2026年3月31日

各 位

会 社 名 : ユーピーアール株式会社  
代表者名 : 代表取締役  
社長執行役員 酒田 義矢  
(コード番号 : 7065 東証スタンダード市場)  
問い合わせ先 : 上級執行役員  
経営企画本部長 袴田 真一  
TEL : 03-3593-1728

## 2026年8月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年12月12日に公表いたしました2026年8月期第2四半期累計期間連結業績予想を、以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 2026年8月期第2四半期連結業績予想の修正 (2025年9月1日～2026年2月28日)

【連結】

(単位：百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する中間 純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	7,569	390	500	320	41円78銭
今回修正予想(B)	7,632	581	808	514	67円21銭
増減額(B-A)	62	191	308	194	—
増減率 (%)	0.8	49.1	61.8	60.9	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2025年8月期第2四半期)	7,506	168	337	143	18円78銭

### 2. 修正の理由

当社の主力事業であるパレット等物流機器のレンタルに関しまして、一貫パレチゼーションは、家庭紙パレット共同研究会での専用パレットを活用した共同利用・共同回収や当社のパレット回収ネットワークを活用したフローズン業界での取り扱いを中心に計画通り推移いたしました。スポットレンタルは、対前年では微減となっているものの、一過性の需要等により、計画を上回って推移いたしました。コスト面では、人件費やエネルギーコストの上昇に伴うデポ運営費用及び運送費用の増加傾向は続いておりますが、運送費用が計画を下回って推移いたしました。また、販管費についても計画から改善しております。

その結果、売上高、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する中間純利益が前回発表の予想を上回る見込みとなりました。これらを踏まえて2026年8月期第2四半期連結業績予想を修正いたします。

なお、当社は、2026年8月期から2年間で「構造改革フェーズ」と位置付け、コア事業であるパレッ

トレンタルの競争力強化と収益構造の改善、事業の選択と集中に取り組んでおり、今後一時的な費用等が発生する可能性があること、及び中東情勢が当社事業に与える影響を見極めるため、通期の連結業績予想につきましては、現時点では前回発表予想を据え置きとし、業績予想の修正の必要が生じた際には、速やかに開示いたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合等様々な要因によって異なる場合があります。

以 上